

保育学部の教育理念と教育課程の特徴

保育学部の教育理念

保育学部の教育理念は<参加><共同><創造>です。内容は以下の通りです。学生のみなさんはしっかりと自らの課題として受けとめて学んでほしいと思います。

【保育学部の基本理念】

教育・保育学に関する体系的な教育・研究を通して、学生の社会参加と自己実現を支援し、もって人類の福祉と子どもの最善の利益に貢献しうる高度の専門性を具えた有為な職業人を養成するとともに、社会の要請に応えつつ教育・保育の社会的な発展に貢献する。

【3つの目標と9つの課題】

(1) 男女共同参画社会の実現という現代社会の課題に応え、学生の自己実現を支援し、能動的で自己開発的な学修主体として社会参加の意識の高い能力をもった学生を形成する。<参加>

- a、授業への積極的な参加を促し、自主的・主体的で、自己開発的な学修主体として学生を形成する。
- b、学部の責任ある構成員として学部づくりへの積極的な参加を促し、その行動と経験を通して社会参加の意識と能力を醸成する。
- c、ボランティア活動、実習、インターンシップ、演習等の授業および授業外の社会参加・体験学修の豊かな機会を保障し、責任ある社会の構成員としての意識と能力を醸成する。

(2) 個人としての責任感と同時に共同の責任感をもって、問題解決と課題実現のために豊かな研究と活動を共同で展開しうる意識と能力をもった学生を形成する。<共同>

- a、サークル活動等学生の自主的諸活動を積極的に促進し、相互に協力して問題解決と課題実現のために活動する機会を豊かに実現する。
- b、ゼミなどの活動を通して、学生が個人としてまた相互に協力し、かつ学生と教員とが目標を共有して、特定のテーマについて研究し、様々な課題に則して活動する経験を豊かに保障する。
- c、社会参加の多面的な機会を通して、責任ある活動のために組織されている協力関係を体験的に学び、そのような協力関係を取り結ぶ責任ある社会の構成員としての意識や能力を醸成する。

(3) 子どもの発達保障や子どもの最善の利益を実現しうる社会の形成等の責任ある社会的活動に従事しうる想像力と創造力を豊かにもった学生を形成する。<創造>

- a、時代の要請に応え教育・保育学の体系として構造化された保育学部の教育課程を系統的に学ぶことを通して、学問的な想像力を豊かに涵養し、教育・保育学の創造的な学修主体としての学生の自己確立を支援する。
- b、学生にとって学修と生活の基盤であり環境である保育学部を「私の大学」としてのアイデンティティを持ちうるように、学生一人ひとりが責任ある構成員としての意識をもって学部を創造する活動を積極的に展開し体験する。
- c、社会参加の多面的な機会を通して、教育・保育や子育て支援等の仕事や活動において求められる課題を理解し解決するために必要な想像力と創造力を体験的に学び、専門職としての創造的な力量を豊かに形成する。

○保育学部ディプロマポリシー

学生は、桜花学園大学の基本理念及び保育学部の教育理念「参加・共同・創造」を踏まえ、その実現を目的とし、「豊かな学びの共同体」として創造する構成員です。

学生は、「学習権」を享受する責任ある主体であり、教育・保育学に関する体系的な教育・研究をもって組織されている保育学部の学びへの能動的な参加を通して、人類の福祉と子どもの最善の利益に貢献しうる高度の専門性を具えた有為な職業人としての社会的な自己実現を達成することが求められ、支援されます。

○保育学科のディプロマポリシー

保育学部保育学科は、教育理念・目標に照らして、学則に定める所定の単位を修得した学生に、「学士（保育学）」の学位を授与します。総合的な人間学としての教育・保育学は実践の学でもあるので、以下の理論と実践を統一した力を身につけることを期待します。

(1) 自主的、主体的に学び活動する力（高い学習意欲、永続的な自己開発意欲の形成）を身につけている。

〔具体的な目標〕

授業（実習、インターンシップ等を含む）への積極的な参加

サークル、委員会、ボランティア活動等の授業外の活動への積極的な参加

学内外の社会参加・体験学習への積極的な参加

(2) 他者と交流・協力し、学びあう力（豊かな人間性と人間理解、豊かなコミュニケーション能力・自己表現能力・共感能力、信頼されうる社会的モラルの形成）を身につけている。

〔具体的な目標〕

現代社会の求めるコミュニケーション能力を支える知識・技術の修得

ゼミ、サークル、委員会、ボランティア等での責任ある役割の遂行

豊かな人間性と社会的モラルに基礎づけられたことば・態度・行動の実現

(3) 課題を発見・理解し解決しうる力（豊かな教養、専門的な知識・技術、思考力、判断力の形成）を身につけている。

〔具体的な目標〕

卒業研究を含め、卒業に必要な科目を履修し、全体として卒業要件の124単位以上の修得

教育・保育専門職として希望する免許・資格に関わる科目を履修し、必要な単位の修得

教育・保育専門職としての実践的（専門技術的・技能的）能力の多面的な開発

○国際教養こども学科のディプロマポリシー

保育学部国際教養こども学科は、「人類の福祉と世界の子どもの最善の利益に貢献できる高度な専門性を具えた有為な人材を養成する」という保育学部の教育理念のもとで、留学を含めて4年間在学するとともに、学則に定める所定の単位を修得し、以下の力を身につけた学生に、「学士（保育学）」の学位を授与します。

(1) 共通教育科目・専門教育科目の学修を通して、教育・保育に関する専門的知識・技能を修得し、国際社会で活躍するために必要な幅広い視野と知識と教養を身につけている。

(2) 日本と海外の保育を学修して2カ国の保育士資格取得を目指すとともに、各国の保育の比較を通して自らのより望ましい保育のあり方について考察することができる。

(3) 国内外での実習と卒業研究に取り組むことで、課題を見出し解決する力と論理的思考力を身につけている。

(4) 多文化共生社会に生きる子どもと保護者の支援を行うのに必要な異文化受容能力を身につけている。

(5) グローバル時代に対応できる日本語及び英語を中心とする外国語による高いコミュニケーション能力を持っている。

○保育学部のカリキュラムポリシー

保育学部の教育課程は、教育・保育の課題を乳幼児期から児童期の子どもの発達理解と発達環境の諸側面の課題をふまえ、総合的・構造的に、理論と実践を結びつけて探求できるように編成するとともに、保育学科においては、幼稚園教諭一種免許・保育士資格・小学校教諭一種免許・特別支援学校教諭免許、保育学部国際教養こども学科においては、幼稚園教諭一種免許、保育士資格、Certificate III in Early Childhood Education and Care（オーストラリアのアシスタント保育士資格）の取得に必要な科目を希望するすべての学生が履修できるように編成しています。

○保育学科のカリキュラムポリシー

保育学部保育学科は、1年から4年までゼミと実習を系統的に配置しています。ゼミ（1年：基礎演習、2年：総合演習Ⅰ、3年：総合演習Ⅱ、4年：卒業研究）を学生の個別指導の基礎単位とし、チュートリアルシステムの基盤であるとともに、保育学部教育への学生参加の基盤でもあります。実習は、取得を希望する免許・資格に対応して、幼稚園・保育所（幼保連携型認定こども園を含む）、小学校、特別支援学校等で段階的に実施されています。学生は、保育学部保育学科の教育課程の系統的な学修を通して、教育・保育専門職として求められる高度な専門職としての力量の基礎を総合的に培うとともに、現代社会の有能な担い手として社会に貢献しうる人材として自らを開発することが可能となっています。

○国際教養こども学科のカリキュラムポリシー

保育学部国際教養こども学科は1年から4年までゼミと実習を系統的に配置しています。ゼミ（1年：基礎演習、2年：総合演習、4年：卒業研究）は、4年間を通じての学生の大学における学修の基盤であるが、学生に対する個別指導の基礎単位として保育学部のチュートリアルシステムの基盤であるとともに、保育学部における教育への参加学生の基盤でもあります。実習は、取得を希望する免許・資格に対応して、幼稚園、保育所、施設、オーストラリアの保育施設等で段階的に実施されています。学生は、本学科の教育課程の系統的な学修を通して、教育・保育専門職として求められる高度な専門職としての力量の基礎を総合的に培うとともに、現代社会の有能な担い手、且つ、社会に貢献しうる人材として自らを開発することが可能となっています。

保育学部保育学科教育課程表(2021年度入学者)

区分	授業科目	科目ナンバー	単位	形態	卒必	選択	小・幼・保の免許・資格を取得する場合			1年		2年		3年		4年		
							小	幼	保	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
全学共通科目	教養科目 自分を知る	現代社会と女性	OK11L0001	2	講義					○								
		女性とジェンダー	OK11L0002	2	講義					○								
		女性と家庭教育	OK11L0003	2	講義					○								
	人間を知る	芸術の世界	OK11L0101	2	講義					○								
		文学の世界	OK11L0102	2	講義					○								
		心の探求	OK11L0103	2	講義					○								
		生き方の探求	OK11L0104	2	講義					○								
	社会を知る	生活と経済	OK12L0201	2	講義						○							
		地域社会	OK12L0202	2	講義						○							
		人間と歴史	OK12L0203	2	講義						○							
	世界を知る	異文化理解	OK12L0301	2	講義						○							
		日本の文化	OK12L0302	2	講義						○							
		国際関係論	OK12L0303	2	講義						○							
		世界の宗教	OK12L0304	2	講義						○							
	自然を知る	環境の科学	OK21L0401	2	講義							○						
		食と生命の科学	OK21L0402	2	講義							○						
		生き物の社会	OK21L0403	2	講義							○						
	健康・スポーツ関係 数量的スキル・情報関係	スポーツ健康論	OK12K1001	2	講義				○	○	○		○					
		スポーツ I	OK22K1001	1	実技				△	△	△			○				
		スポーツ II	OK22K1002	1	実技								○					
統計学		OK21K1101	2	講義								○						
社会調査法		OK22K1101	2	講義								○						
情報社会論		OK22K1102	2	講義								○						
コンピュータ I		OK11K1101	1	演習	1			○	○	○	○							
コンピュータ II		OK12K1101	1	演習	1			○	○	○		○						
社会貢献・職業体験関係		NGO・NPO論	OK31K1201	2	講義									○				
		現代社会と企業	OK31K1202	2	講義									○				
	地域協力演習	OK31K1203	2	演習									○					
	インターンシップ(国内) A	OK21K1201	1	演習								○	○	○	○	○	○	
	インターンシップ(国内) B	OK21K1202	2	演習								○	○	○	○	○	○	
	インターンシップ(海外) A※	OK12K1201	1	演習						○	○	○	○	○	○	○	○	
	インターンシップ(海外) B※	OK12K1202	2	演習						○	○	○	○	○	○	○	○	
	インターンシップ(海外) C※	OK12K1203	3	演習						○	○	○	○	○	○	○	○	
	インターンシップ(海外) D※	OK12K1204	4	演習						○	○	○	○	○	○	○	○	
ボランティア(海外)	OK12K1205	2	実技						○	○	○	○	○	○	○	○		
海外英語資格実習	OK21K1203	2	実技							○	○	○	○	○	○	○		
グローバル化に対応したコミュニケーションスキル関係	総合英語 I	OK11K1301	1	演習	1			○	○	○								
	総合英語 II	OK12K1301	1	演習	1			○	○	○								
	総合英語 III	OK21K1301	1	演習	1						○							
	総合英語 IV	OK22K1301	1	演習	1							○						
	英語コミュニケーション I	OK31K1301	1	演習	1								○					
	英語コミュニケーション II	OK32K1301	1	演習	1									○				
	英語コミュニケーション III	OK41K1301	1	演習	1										○			
	英語コミュニケーション IV	OK42K1301	1	演習	1											○		
	ポルトガル語と文化 I	OK11K1302	1	演習						○								
	ポルトガル語と文化 II	OK12K1302	1	演習							○							
	スペイン語と文化 I	OK11K1303	1	演習						○								
	スペイン語と文化 II	OK12K1303	1	演習							○							
	フランス語と文化 I	OK11K1304	1	演習						○								
	フランス語と文化 II	OK12K1304	1	演習							○							
	中国語と文化 I	OK11K1305	1	演習						○								
	中国語と文化 II	OK12K1305	1	演習							○							
	中国語と文化 III	OK21K1302	1	演習								○						
	中国語と文化 IV	OK22K1302	1	演習									○					
	韓国語と文化 I	OK11K1306	1	演習						○								
韓国語と文化 II	OK12K1306	1	演習							○								
韓国語と文化 III	OK21K1303	1	演習								○							
韓国語と文化 IV	OK22K1303	1	演習									○						
総合	日本国憲法	OK22K1401	2	講義	2			○	○			○						
	海外研修 A	OK21K1401	2	実習	2							○	○	○	○	○	○	
	海外研修 B	OK21K1402	4	実習	4							○	○	○	○	○	○	
	基礎演習 I	OK11K1401	1	演習	1					○								
	基礎演習 II	OK12K1401	1	演習	1						○							
エンタテインメント	①他学部履修科目 ②愛知学長懇話会科目等	OK00K2001	6		6													

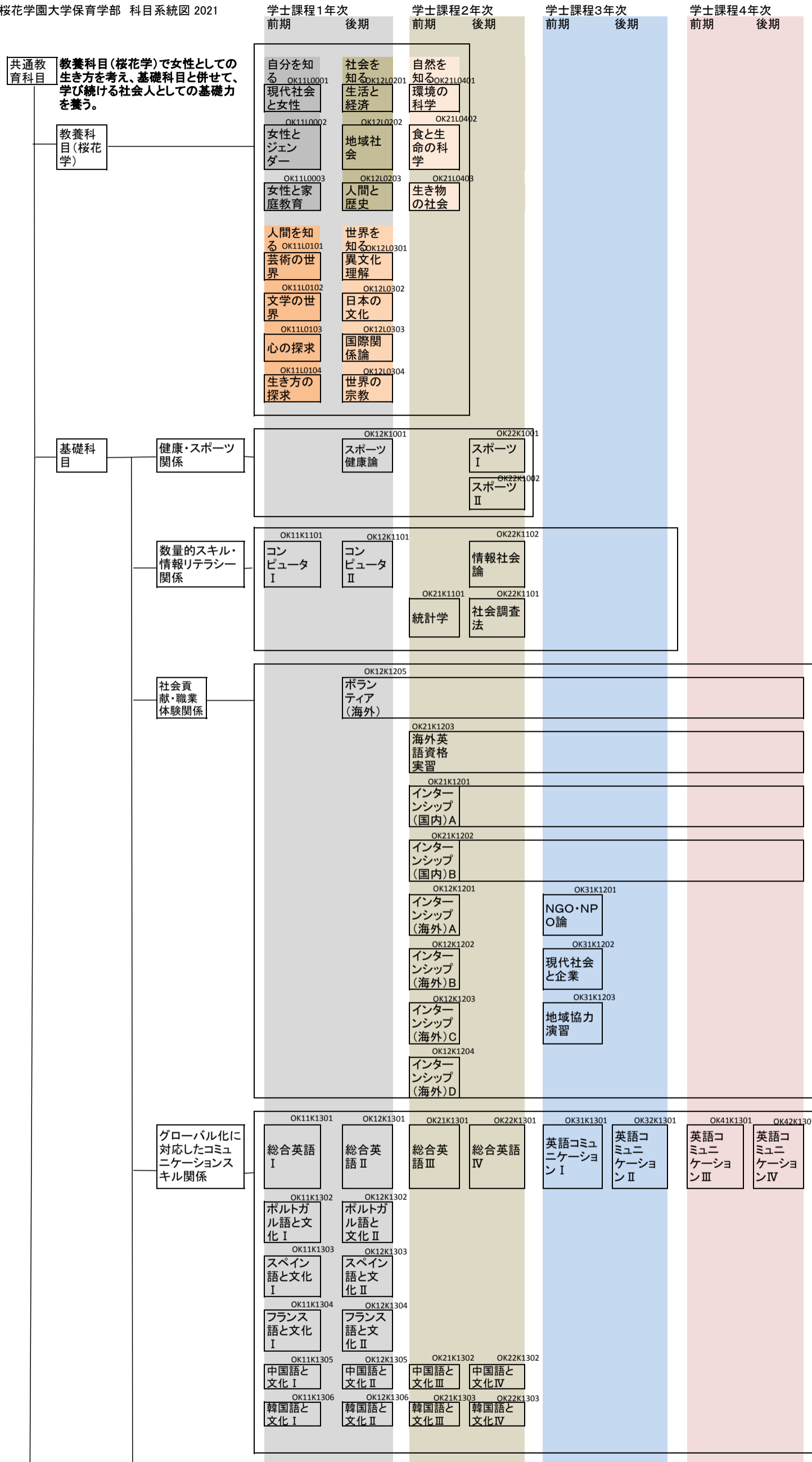
エクステンション科目については別に定める。

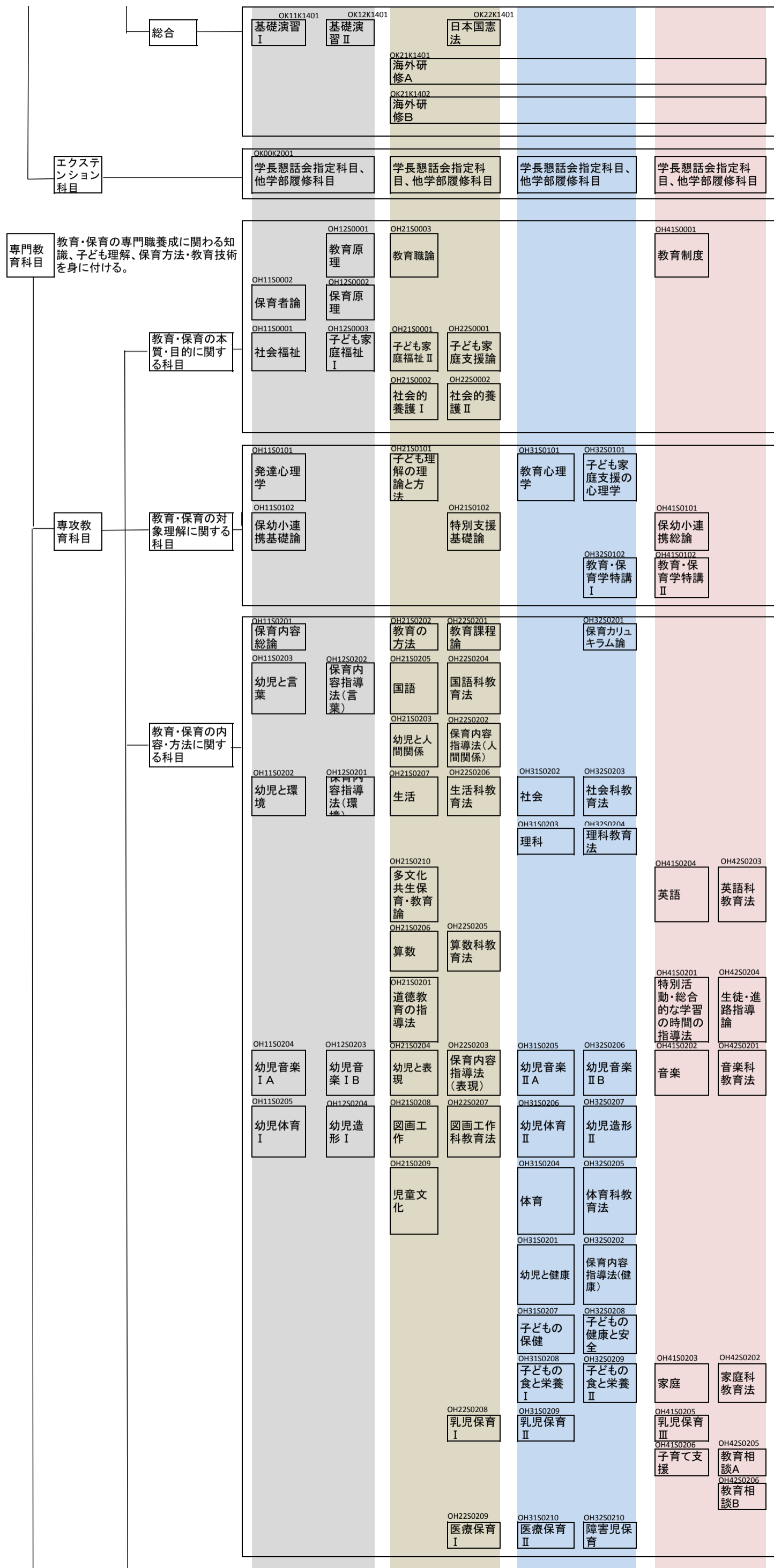
※インターンシップ(海外)として取得できる単位は卒業までに4単位を上限とする。

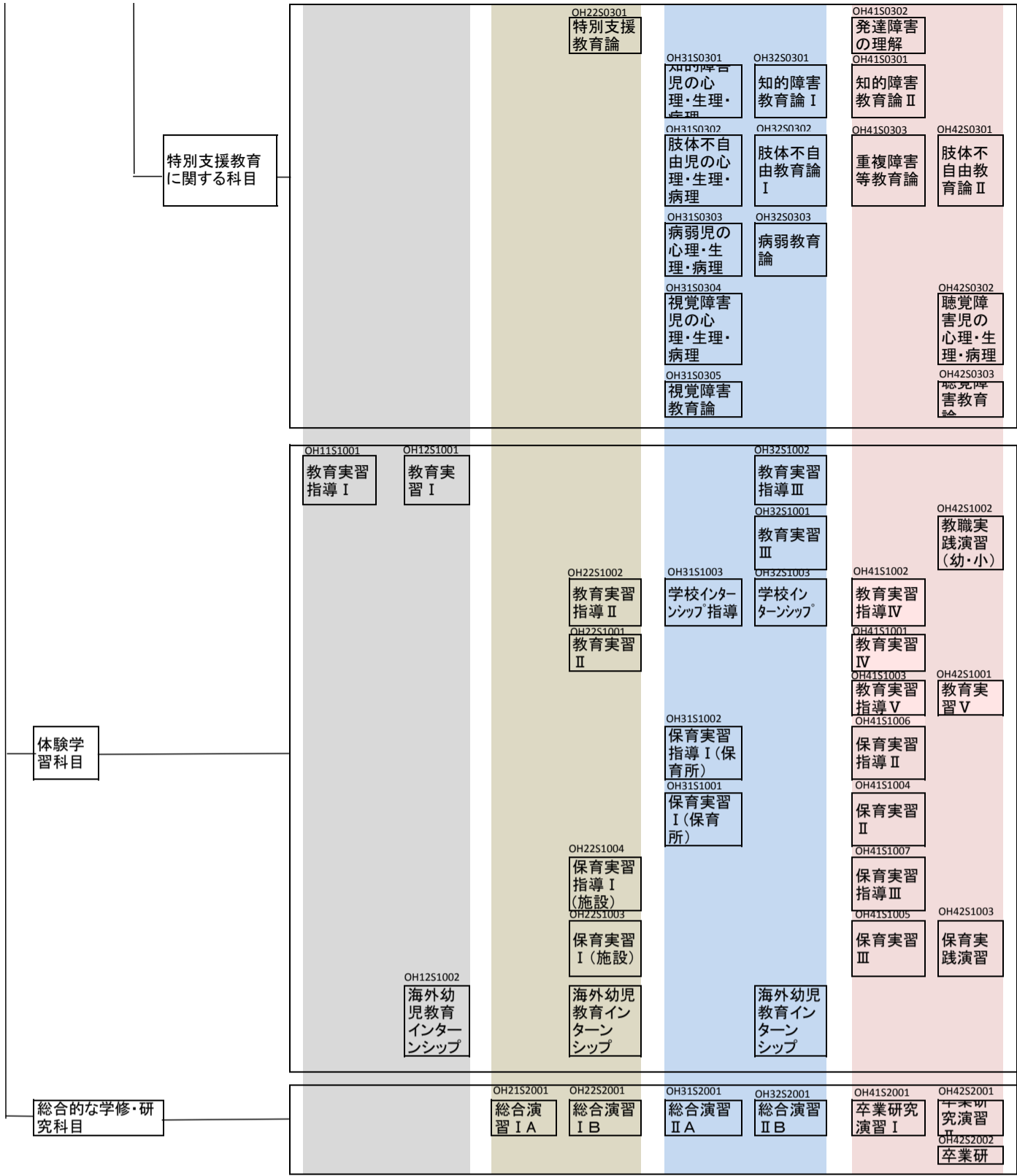
保育学部 国際教養こども学科 教育課程表(2021年度入学者)

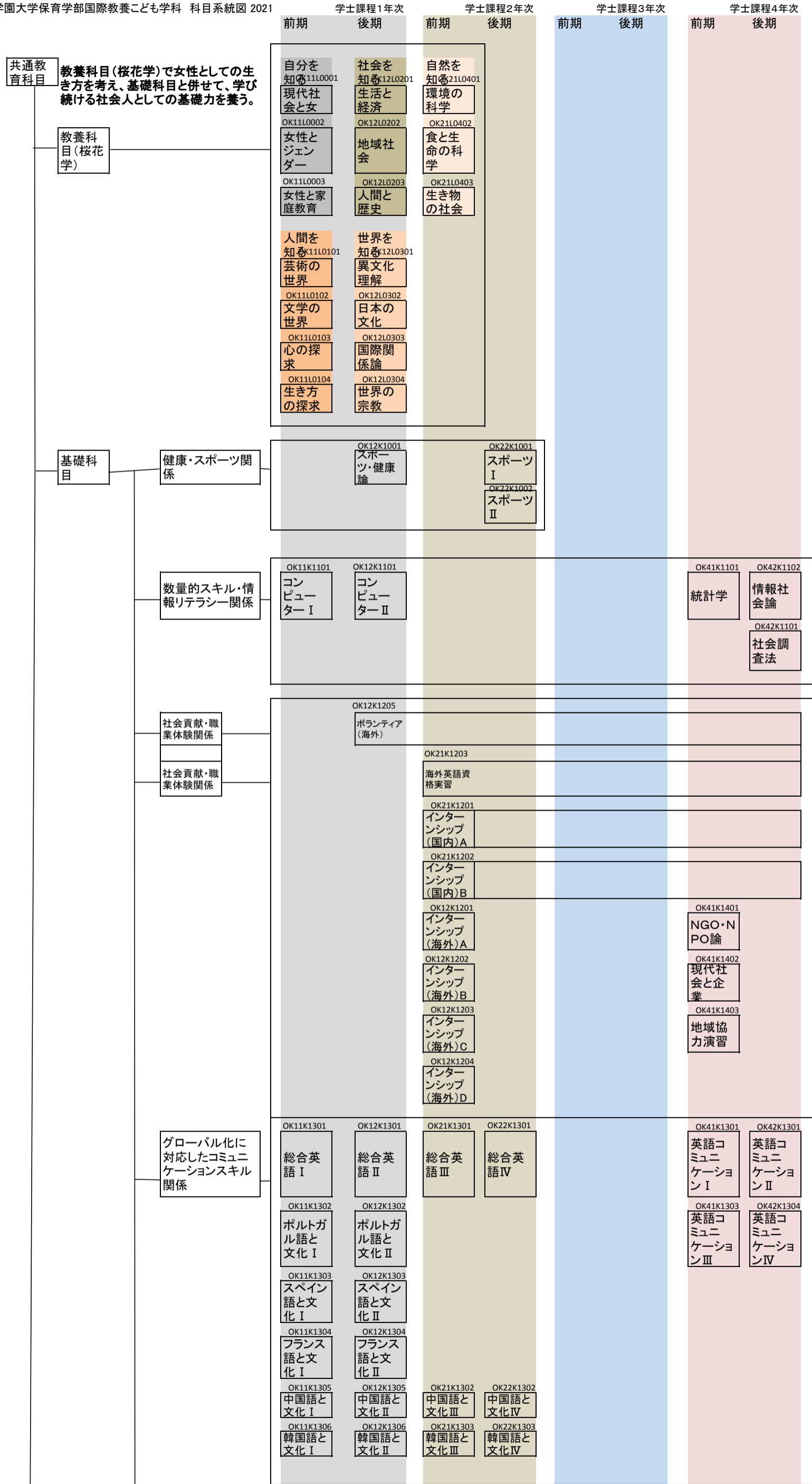
区分	授業科目	科目ナンバー	単位	形態	卒必	選択	小・幼・保の免許・資格を取得する場合			1年		2年		3年		4年		
							小	幼	保	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
教養科目	自分を 知る	現代社会と女性	OK11L0001	2	講義					○								
		女性とジェンダー	OK11L0002	2	講義					○								
		女性と家庭教育	OK11L0003	2	講義					○								
	人間を 知る	芸術の世界	OK11L0101	2	講義					○								
		文学の世界	OK11L0102	2	講義					○								
		心の探求	OK11L0103	2	講義					○								
		生き方の探求	OK11L0104	2	講義					○								
	社会を 知る	生活と経済	OK12L0201	2	講義						○							
		地域社会	OK12L0202	2	講義						○							
		人間と歴史	OK12L0203	2	講義						○							
世界を 知る	異文化理解	OK12L0301	2	講義						○								
	日本の文化	OK12L0302	2	講義						○								
	国際関係論	OK12L0303	2	講義						○								
	世界の宗教	OK12L0304	2	講義						○								
自然を 知る	環境の科学	OK21L0401	2	講義							○							
	食と生命の科学	OK21L0402	2	講義							○							
	生き物の社会	OK21L0403	2	講義							○							
健康・ スポーツ 関係	スポーツ健康論	OK12K1001	2	講義				○	○	○		○						
	スポーツ I	OK22K1001	1	実技				△	△	△			○					
	スポーツ II	OK22K1002	1	実技								○						
数量的 リテラ シー スキル 関係	統計学	OK41K1101	2	講義							○					○		
	社会調査法	OK42K1101	2	講義								○					○	
	情報社会論	OK42K1102	2	講義								○					○	
社会貢 献・職 業体験 関係	コンピュータ I	OK11K1101	1	演習	1			○	○	○								
	コンピュータ II	OK12K1101	1	演習	1			○	○	○								
	NGO・NPO論	OK41K1401	2	講義												○		
	現代社会と企業	OK41K1402	2	講義												○		
	地域協力演習	OK41K1403	2	演習												○		
	インターンシップ(国内) A	OK21K1201	1	演習							○	○			○	○		
	インターンシップ(国内) B	OK21K1202	2	演習							○	○			○	○		
	インターンシップ(海外) A※	OK12K1201	1	演習							○	○			○	○		
	インターンシップ(海外) B※	OK12K1202	2	演習							○	○			○	○		
	インターンシップ(海外) C※	OK12K1203	3	演習							○	○			○	○		
インターンシップ(海外) D※	OK12K1204	4	演習							○	○			○	○			
ボランティア(海外)	OK12K1205	2	実習							○	○	○			○	○		
海外英語資格実習	OK21K1203	2	実習															
基礎科 目	総合英語 I	OK11K1301	1	演習	1			○	○	○								
	総合英語 II	OK12K1301	1	演習	1			○	○	○								
	総合英語 III	OK21K1301	1	演習	1						○							
	総合英語 IV	OK22K1301	1	演習	1							○						
	英語コミュニケーション I	OK41K1301	1	演習	1											○		
	英語コミュニケーション II	OK42K1301	1	演習	1												○	
	英語コミュニケーション III	OK41K1303	1	演習	1											○		
	英語コミュニケーション IV	OK42K1304	1	演習	1												○	
	ポルトガル語と文化 I	OK11K1302	1	演習						○								
	ポルトガル語と文化 II	OK12K1302	1	演習							○							
グロー バル 化に 対 応 し た コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ス キ ル 関 係	スペイン語と文化 I	OK11K1303	1	演習						○								
	スペイン語と文化 II	OK12K1303	1	演習							○							
	フランス語と文化 I	OK11K1304	1	演習							○							
	フランス語と文化 II	OK12K1304	1	演習								○						
	中国語と文化 I	OK11K1305	1	演習							○							
	中国語と文化 II	OK12K1305	1	演習								○						
	中国語と文化 III	OK21K1302	1	演習									○					
	中国語と文化 IV	OK22K1302	1	演習										○				
	韓国語と文化 I	OK11K1306	1	演習							○							
	韓国語と文化 II	OK12K1306	1	演習								○						
総 合	日本国憲法	OK22K1401	2	講義		2		○	○									
	海外研修 A	OK21K1401	2	実習		2					○	○			○	○		
	海外研修 B	OK21K1402	4	実習		4					○	○			○	○		
	基礎演習 I	OK11K1401	1	演習	1					○								
	基礎演習 II	OK12K1401	1	演習	1						○							
エン グ リ シ ョ ン テ	①他学部履修科目 ②愛知学長懇話会科目等		6			6												

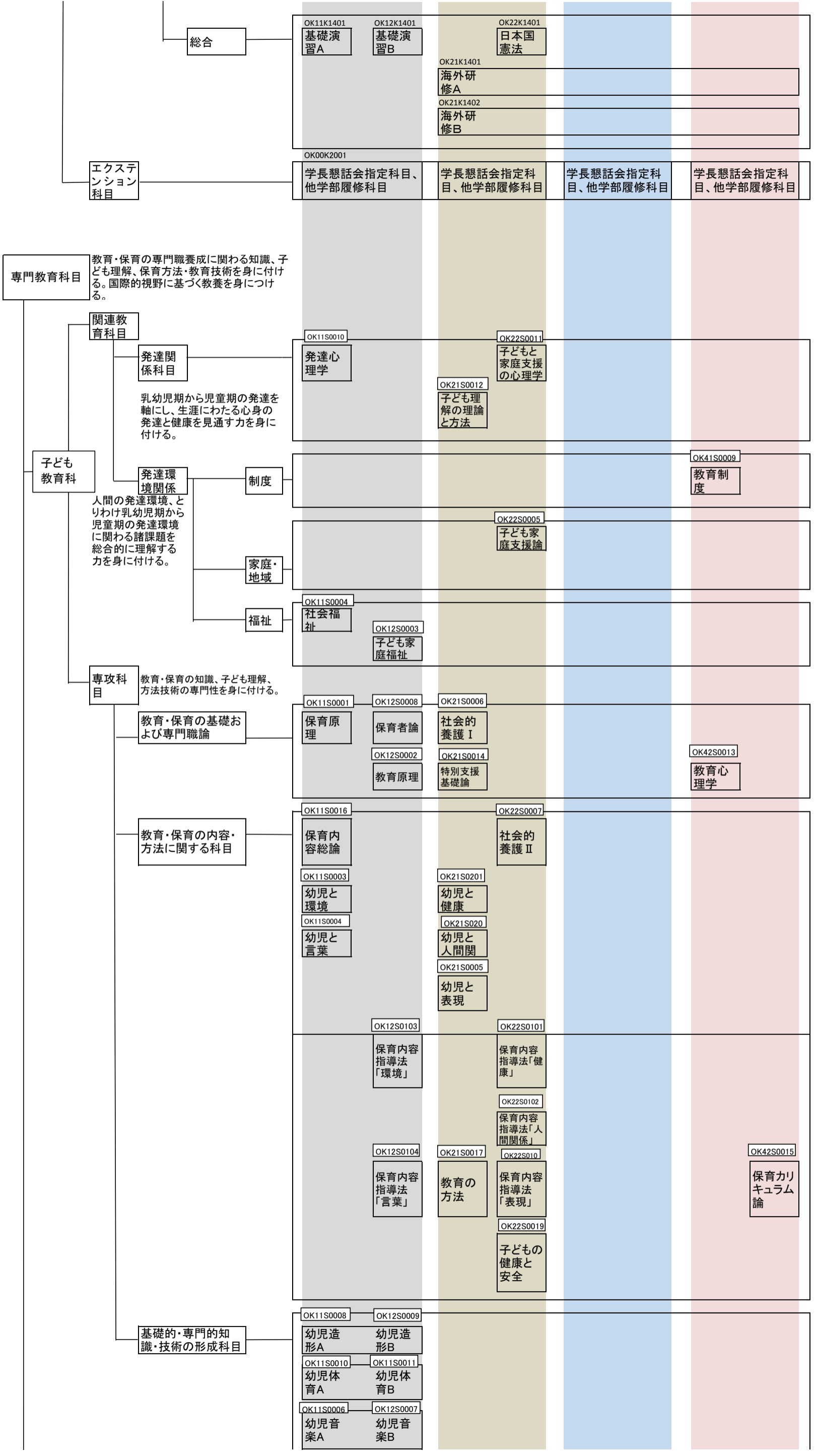
※ インターンシップ(海外)として取得できる単位は卒業までに4単位を上限とする。

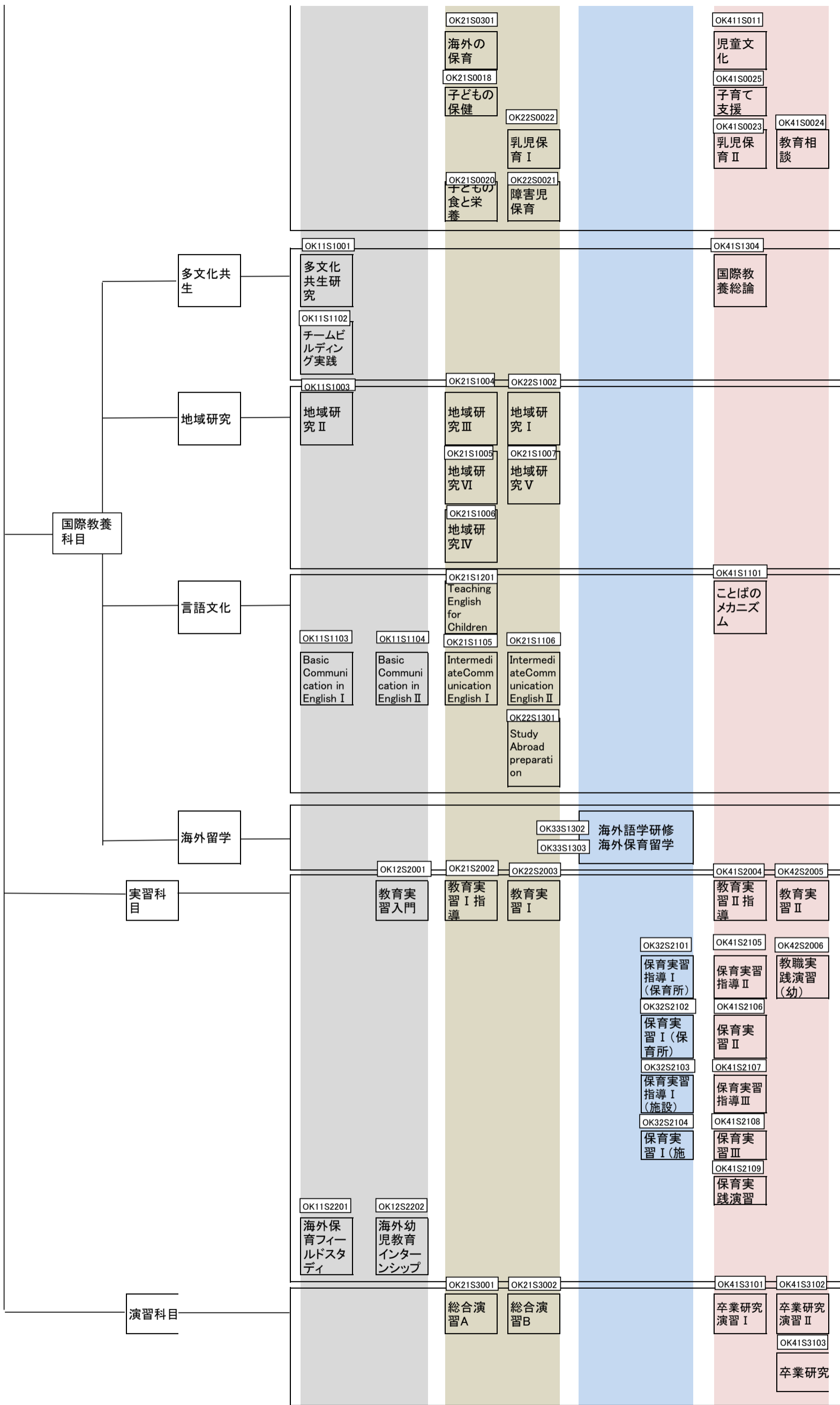












免許状・資格等の取得(保育学科)

I. 幼稚園教諭1種免許状の取得

本学で教育職員免許の幼稚園教諭1種免許状の取得をする場合、学士の学位を取得し、以下の指定する保育学部保育学科の基礎教育科目並びに専門教育科目を履修しなければなりません。

1. 基礎資格
学士の学位を有すること。
2. 基礎教育科目での履修（教育職員免許法施行規則に定める科目）

免許法施行規則に定める科目及び単位数		本学の授業科目と単位数		必要な単位数
科目	単位	科目	単位	単位
日本国憲法	2	日本国憲法	2	2
体育	2	スポーツ健康論	2	1
		スポーツⅠ	1	1
		スポーツⅡ	1	
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	1	2
		総合英語Ⅱ	1	
情報機器の操作	2	コンピュータⅠ	1	2
		コンピュータⅡ	1	

3. 専門教育科目での履修
 - a. 領域及び保育内容の指導法に関する科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数			本学の授業科目と単位数		必要な単位数
区分	科目	単位	科目	単位	単位
領域に関する専門事項	健康	16	幼児と健康	1	5
	人間関係		幼児と人間関係	1	
	環境		幼児と環境	1	
	言葉		幼児と言葉	1	
	表現		幼児と表現	1	
上記科目に含まれる内容を合わせた内容に係る科目その他上記科目に準ずる内容の科目			/		
情報機器及び内容の活用(情)	保育内容総論	16	保育内容総論	2	2
	保育内容指導法(健康)		保育内容指導法(健康)	2	2
	保育内容指導法(人間関係)		保育内容指導法(人間関係)	2	2
	保育内容指導法(環境)		保育内容指導法(環境)	2	2
	保育内容指導法(言葉)		保育内容指導法(言葉)	2	2
	保育内容指導法(表現)		保育内容指導法(表現)	2	2
	保育内容指導法(表現)		保育内容指導法(表現)	2	2

- b. 教育の基礎的理解に関する科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数			本学の授業科目と単位数		必要な単位数
区分	科目	単位	科目	単位	単位
教	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思		教育原理	2	2

育の基礎的理解に関する科目	想	10			
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		保育者論	2	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育制度	2	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援基礎論	1	1
教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	保育カリキュラム論	2	2		
の道徳、相導、相談法等及び総合的な学習の時間等の指導科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	4	教育の方法	2	2
	幼児理解の理論及び方法		子ども理解の理論と方法	2	2
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談A	1	1
教育実践に関する科目	教育実習	7	教育実習指導Ⅰ	1	6
			教育実習指導Ⅲ	1	
			教育実習Ⅰ	1	
			教育実習Ⅲ	3	
	学校体験活動				
	教職実践演習		教職実践演習（幼・小）	2	2

c. 大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分等	本学の授業科目と単位数		必要な単位数	
	科目	単位	単位	
大学が独自に設定する科目	14	発達心理学	2	※1
		保幼小連携基礎論	1	
		保幼小連携総論	1	
		児童文化	2	
		幼児音楽ⅠA	2	
		幼児音楽ⅠB	2	
		幼児造形Ⅰ	1	
		幼児体育Ⅰ	1	

※1「大学が独自に設定する科目」と最低修得単位を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて14単位以上を修得

II. 小学校教諭1種免許状の取得

本学で小学校教諭1種免許状の取得をする場合、学士の学位を取得し、以下の指定する保育学部保育学科の基礎教育科目並びに専門教育科目を履修するとともに、「介護等の体験」を行わなければなりません。

1. 基礎資格

学士の学位を有すること。

2. 基礎教育科目での履修（教育職員免許法施行規則に定める科目）

免許法施行規則に定める科目及び単位数		本学の授業科目と単位数		必要な 単位数 単位
科目	単位	科目	単位	
日本国憲法	2	日本国憲法	2	2
体育	2	スポーツ健康論	2	1
		スポーツⅠ	1	1
		スポーツⅡ	1	
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	1	2
		総合英語Ⅱ	1	
情報機器の操作	2	コンピュータⅠ	1	2
		コンピュータⅡ	1	

*幼稚園教諭1種免許状と共通ですので、重複して履修する必要はありません。

3. 専門教育科目での履修

a. 教科及び教科の指導法に関する科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数			本学の授業科目と単位数		必要な 単位数 単位
区分	科目	単位	科目	単位	
教科に関する専門的事項	国語（書写含む。）	30	国語	1	10
	社会		社会	1	
	算数		算数	1	
	理科		理科	1	
	生活		生活	1	
	音楽		音楽	1	
	図画工作		図画工作	1	
	家庭		家庭	1	
	体育		体育	1	
	外国語		英語	1	
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目					
各教科の指導法（情報機器を含む）	国語科教育法	30	国語科教育法	2	2
	社会科教育法		社会科教育法	2	2
	算数科教育法		算数科教育法	2	2
	理科教育法		理科教育法	2	2
	生活科教育法		生活科教育法	2	2
	音楽科教育法		音楽科教育法	2	2

器 及 び 教 材 の 活	図画工作科教育法	図画工作科教育法	2	2
	家庭科教育法	家庭科教育法	2	2
	体育科教育法	体育科教育法	2	2
	英語科教育法	英語科教育法	2	2

b. 教育の基礎的理解に関する科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数			本学の授業科目と単位数		必要な単位数
区分	科目	単位	科目	単位	単位
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	2	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教育職論	2	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育制度	2	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援基礎論	1	1
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	2	2
道徳、生徒指導、総合的な学習の時間等に関する指導法	道徳の理論及び指導法	10	道徳教育の指導法	2	2
	総合的な学習の時間の指導法		特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2	2
	特別活動の指導法		教育の方法	2	2
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		生徒・進路指導論	2	2
	生徒指導の理論及び方法		教育相談A	1	1
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談B	1	1
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
教育実践に関する科目	教育実習	7	教育実習指導Ⅱ	1	6
			教育実習指導Ⅳ	1	
			教育実習Ⅱ	1	
			教育実習Ⅳ	3	
	学校体験活動				
	教職実践演習		教職実践演習（幼・小）	2	2

*幼稚園教諭1種免許状との共通科目は、重複して履修する必要はありません。

c. 大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分等		本学の授業科目と単位数		必要な単位数
		科目	単位	単位
大学が独自に設定する科目	2	学校インターンシップ指導	1	※1
		学校インターンシップ	1	

※1「大学が独自に設定する科目」と最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等に関する指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて2単位以上を修得

Ⅲ. 特別支援学校教諭1種免許状(知的障害者・肢体不自由者・病弱者)の取得

本学で特別支援学校教諭1種免許状(知的障害者・肢体不自由者・病弱者)の取得をする場合、小学校教諭1種免許状を取得見込みであり、以下の指定する保育学部保育学科の専門教育科目を履修しなければなりません。

特別支援教育に関する科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数			本学の授業科目と単位数		必要な単位数
区分	科目	単位	科目	単位	単位
	特別支援教育の基礎理論に関する科目	2	特別支援教育論	2	2
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	16	知的障害児の心理・生理・病理	2	16
			肢体不自由児の心理・生理・病理	2	
			病弱児の心理・生理・病理	2	
	知的障害教育論Ⅰ		2		
	知的障害教育論Ⅱ		2		
	肢体不自由教育論Ⅰ		2		
	肢体不自由教育論Ⅱ		2		
	病弱教育論		2		
な免許状の領域に関する科目 特別に定められること以外	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	5	視覚障害児の心理・生理・病理	1	6
			聴覚障害児の心理・生理・病理	1	
			発達障害の理解	1	
	視覚障害教育論		1		
	聴覚障害教育論		1		
	重複障害等教育論		1		
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習		3	教育実習指導Ⅴ	
		教育実習Ⅴ	2		

IV. 保育士資格の取得

本学で保育士資格を取得する場合、児童福祉法施行規則（指定保育士養成施設指定基準）に定める次の要件を充たすよう基礎教育科目並びに専門教育科目を履修しなければなりません。

1. 基礎教育科目での履修

指定保育士養成施設指定基準における要件			本学の授業科目と単位数		必要な単位数
系列	教 科 目	単 位	教 科 目	単 位	単 位
教養科目	外国語、体育以外の科目	6以上	現代社会と女性	2	2以上
			女性と家庭教育	2	
			女性とジェンダー	2	
			コンピュータⅠ	1	4
			コンピュータⅡ	1	
			基礎演習Ⅰ	1	
	外国語	2以上	総合英語Ⅰ	1	2以上
			総合英語Ⅱ	1	
	体育（講義）	1	スポーツ健康論	2	2
	体育（実技）	1	スポーツⅠ	1	1以上
スポーツⅡ			1		

2. 専門教育科目での履修

a. 告示別表第1による科目

指定保育士養成施設指定基準における要件			本学の授業科目と単位数		必要な単位数
系列	教 科 目	単 位	教 科 目	単 位	単 位
的保 に育 関の す本 質 科・ 目目	保育原理	2	保育原理	2	2
	教育原理	2	教育原理	2	2
	子ども家庭福祉	2	子ども家庭福祉Ⅰ	2	2
	社会福祉	2	社会福祉	2	2
	子ども家庭支援論	1	子ども家庭支援論	2	2
	社会的養護Ⅰ	2	社会的養護Ⅰ	2	2
	保育者論	2	保育者論	2	2
象保 す育 理の 科解 目に 対	保育の心理学	2	発達心理学	2	2
	子ども家庭支援の心理学	2	子ども家庭支援の心理学	2	2
	子どもの理解と援助	1	子ども理解の理論と方法	2	2
	子どもの保健	2	子どもの保健	2	2
	子どもの食と栄養	2	子どもの食と栄養Ⅰ	2	2
保 育の 内 容・ 方 法に 関 す	保育の計画と評価	2	保育カリキュラム論	2	2
	保育内容総論	1	保育内容総論	2	2
	保育内容演習	5	保育内容指導法（健康）	1	1
			保育内容指導法（人間関係）	1	1
			保育内容指導法（環境）	1	1
			保育内容指導法（言葉）	1	1
			保育内容指導法（表現）	1	1
	保育内容の理解と方法	4	幼児と健康	1	1
			幼児と人間関係	1	1
			幼児と環境	1	1
幼児と言葉			1	1	
			幼児と表現	1	1

る 科 目	乳児保育Ⅰ	2	乳児保育Ⅰ	2	2
	乳児保育Ⅱ	1	乳児保育Ⅱ	1	1
	子ども健康と安全	1	子ども健康と安全	1	1
	障害児保育	2	障害児保育	2	2
	社会的養護Ⅱ	1	社会的養護Ⅱ	1	1
	子育て支援	1	子育て支援	1	1
保育実習	保育実習Ⅰ	4	保育実習Ⅰ（保育所）	2	2
			保育実習Ⅰ（施設）	2	2
	保育実習指導Ⅰ	2	保育実習指導Ⅰ（保育所）	1	1
			保育実習指導Ⅰ（施設）	1	1
総合演習	保育実践演習	2	保育実践演習	2	2

b. 告示別表第2による科目

指定保育士養成施設指定基準における要件		本学の授業科目と単位数		必要な単位数	
系 列	単 位	教 科 目	単 位	単 位	
保育の本質・目的に関する科目	15以上	教育制度	2	9以上	
保育の対象の理解に関する科目		教育心理学	2		
		特別支援基礎論	1		
		保幼小連携基礎論	1		
		保幼小連携総論	1		
		保育内容指導法（健康）	1		
保育の内容・方法に関する科目		保育内容指導法（人間関係）	1		
		保育内容指導法（環境）	1		
		保育内容指導法（言葉）	1		
		保育内容指導法（表現）	1		
		幼児音楽ⅠA	1		
		幼児音楽ⅠB	1		
		幼児造形Ⅰ	1		
		幼児体育Ⅰ	1		
		児童文化	1		
		子どもの食と栄養Ⅱ	1		
保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ		2	乳児保育Ⅲ		1
			保育実習Ⅱ		2
			保育実習Ⅲ		
保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ	1	保育実習指導Ⅱ	1		
		保育実習指導Ⅲ			

注意事項

幼稚園教諭1種免許状、小学校教諭1種免許状、特別支援学校教諭1種免許状、保育士資格を取得するためには、各免許状、資格が定める所定の科目（上記Ⅰ．Ⅱ．Ⅲ．Ⅳを確認のこと）を履修し、単位の認定を受けなければなりません。

本学では、実習に関する科目の履修資格、単位の認定等について、「桜花学園大学保育学部 教職課程及び指定保育士養成施設指定および運営の基準に定める教育課程の履修に関する細則（以下「細則」という）を定めています（『履修の手引き』の末尾に掲載）。

実習は、学外で行う体験学習科目です。学生のみなさんは、『履修の手引き』の「保育学部シラバス」及び上記「細則」をよく読んで、実習に関する科目を履修してください。

V. 幼稚園教諭専修免許状、小学校教諭専修免許状の取得

保育学部を卒業後、本学大学院人間文化研究科人間科学専攻に進学し修士の学位を取得し、取得を希望する免許課程の科目を履修し、所定の単位を修得した場合、幼稚園教諭専修免許状および小学校教諭専修免許状を取得することが出来ます。

1. 基礎資格 修士の学位を取得すること。
2. 基礎要件 幼稚園教諭1種免許または小学校教諭1種免許を取得していること。
3. 取得を希望する免許課程における履修すべき科目と修得を必要とする最低単位数は教科又は教職に関する科目24単位以上。

免許状・資格等の取得(国際教養こども学科)

I. 幼稚園教諭1種免許状の取得

本学で教育職員免許の幼稚園教諭1種免許状の取得をする場合、学士の学位を取得し、以下の指定する保育学部国際教養こども学科の基礎教育科目並びに専門教育科目を履修しなければなりません。

1. 基礎資格
学士の学位を有すること。
2. 基礎教育科目での履修（教育職員免許法施行規則に定める科目）

免許法施行規則に定める科目及び単位数		本学の授業科目と単位数		必要な単位数
科目	単位	科目	単位	
日本国憲法	2	日本国憲法	2	2
体育	2	スポーツ健康論	2	1
		スポーツⅠ	1	1
		スポーツⅡ	1	
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	1	2
		総合英語Ⅱ	1	
情報機器の操作	2	コンピュータⅠ	1	2
		コンピュータⅡ	1	

3. 専門教育科目での履修
 - a. 領域及び保育内容の指導法に関する科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数			本学の授業科目と単位数		必要な単位数
区分	科目	単位	科目	単位	
領域に関する専門事項	健康	16	幼児と健康	1	5
	人間関係		幼児と人間関係	1	
	環境		幼児と環境	1	
	言葉		幼児と言葉	1	
	表現		幼児と表現	1	
上記科目に含まれる内容を合わせた内容に係る科目その他上記科目に準ずる内容の科目			/		
情報機器及び内容の活用(情)	保育内容総論	16	保育内容総論	2	2
	保育内容指導法(健康)		保育内容指導法(健康)	2	2
	保育内容指導法(人間関係)		保育内容指導法(人間関係)	2	2
	保育内容指導法(環境)		保育内容指導法(環境)	2	2
	保育内容指導法(言葉)		保育内容指導法(言葉)	2	2
	保育内容指導法(表現)		保育内容指導法(表現)	2	2

- b. 教育の基礎的理解に関する科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数			本学の授業科目と単位数		必要な単位数
区分	科目	単位	科目	単位	
教	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思		教育原理	2	2

保育の基礎的理解に関する科目	想				
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	10	保育者論	2	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育制度	2	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援基礎論	1	1
教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		保育カリキュラム論	2	2	
の道徳、相導、相談法等及び総合的に生徒学習の指導、時間教育等	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	4	教育の方法	2	2
	幼児理解の理論及び方法		子ども理解の理論と方法	2	2
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談	1	1
教育実践に関する科目	教育実習	7	教育実習指導Ⅰ	1	6
			教育実習指導Ⅱ	1	
			教育実習Ⅰ	2	
			教育実習Ⅱ	2	
	学校体験活動				
	教職実践演習		教職実践演習（幼）	2	2

C. 大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分等		本学の授業科目と単位数		必要な単位
		科目	単位	
大学が独自に設定する科目	14	発達心理学	2	※1
		教育実習入門	1	
		児童文化	2	
		多文化共生研究	2	
		幼児音楽A	1	
		幼児音楽B	1	
		幼児造形A	1	
		幼児造形B	1	
		幼児体育A	1	
		幼児体育B	1	

※1「大学が独自に設定する科目」と最低修得単位を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて14単位以上を修得

II. 保育士資格の取得

本学で保育士資格を取得する場合、児童福祉法施行規則（指定保育士養成施設指定基準）に定める次の要件を充たすよう基礎教育科目並びに専門教育科目を履修しなければなりません。

1. 基礎教育科目での履修

指定保育士養成施設指定基準における要件			本学の授業科目と単位数		必要な単位数
系列	教 科 目	単 位	教 科 目	単 位	単 位
教養科目	外国語、体育以外の科目	6以上	現代社会と女性	2	2以上
			女性とジェンダー	2	
			女性と家庭教育	2	
			コンピュータⅠ	1	4
			コンピュータⅡ	1	
			基礎演習Ⅰ	1	
	基礎演習Ⅱ	1			
	外国語	2以上	総合英語Ⅰ	1	2以上
			総合英語Ⅱ	1	
	体育（講義）	1	スポーツ健康論	2	2
体育（実技）	1	スポーツⅠ	1	1以上	
		スポーツⅡ	1		

2. 専門教育科目での履修

a. 告示別表第1による科目

指定保育士養成施設指定基準における要件			本学の授業科目と単位数		必要な単位数
系列	教 科 目	単 位	教 科 目	単 位	単 位
的保 に育 関の す本 質 科・ 目目	保育原理	2	保育原理	2	2
	教育原理	2	教育原理	2	2
	子ども家庭福祉	2	子ども家庭福祉	2	2
	社会福祉	2	社会福祉	2	2
	子ども家庭支援論	2	子ども家庭支援論	2	2
	社会的養護Ⅰ	2	社会的養護Ⅰ	2	2
	保育者論	2	保育者論	2	2
象保 の育 理の 科対 目に	保育の心理学	2	発達心理学	2	2
	子ども家庭支援の心理学	2	子ども家庭支援の心理学	2	2
	子どもの理解と援助	1	子ども理解の理論と方法	2	2
	子どもの保健	2	子どもの保健	2	2
	子どもの食と栄養	2	子どもの食と栄養	2	2
保 育の 内 容・ 方 法に 関 す	保育の計画と評価	2	保育カリキュラム論	2	2
	保育内容総論	1	保育内容総論	2	2
	保育内容演習	5	保育内容指導法（健康）	1	1
			保育内容指導法（人間関係）	1	1
			保育内容指導法（環境）	1	1
			保育内容指導法（言葉）	1	1
	保育内容の理解と方法	4	保育内容指導法（表現）	1	1
			幼児と健康	1	1
			幼児と人間関係	1	1
			幼児と環境	1	1
幼児と言葉			1	1	
幼児と表現	1	1			

る 科 目	乳児保育Ⅰ	2	乳児保育Ⅰ	2	2
	乳児保育Ⅱ	1	乳児保育Ⅱ	1	1
	子ども健康と安全	1	子どもの健康と安全	1	1
	障害児保育	2	障害児保育	2	2
	社会的養護Ⅱ	1	社会的養護Ⅱ	1	1
	子育て支援	1	子育て支援	1	1
保育実習	保育実習Ⅰ	4	保育実習Ⅰ（保育所）	2	2
			保育実習Ⅰ（施設）	2	2
	保育実習指導Ⅰ	2	保育実習指導Ⅰ（保育所）	1	1
			保育実習指導Ⅰ（施設）	1	1
総合演習	保育実践演習	2	保育実践演習	2	2

b. 告示別表第2による科目

指定保育士養成施設指定基準における要件		本学の授業科目と単位数		必要な単位数
系 列	単 位	教 科 目	単 位	単 位
保育の本質・目的に関する科目	15以上	教育制度	2	9以上
保育の対象の理解に関する科目		教育心理学	2	
		海外の保育	2	
		特別支援基礎論	1	
		保育内容指導法（健康）	1	
		保育内容指導法（人間関係）	1	
		保育内容指導法（環境）	1	
保育の内容・方法に関する科目		保育内容指導法（言葉）	1	
		保育内容指導法（表現）	1	
		幼児音楽A	1	
		幼児音楽B	1	
		幼児造形A	1	
		幼児造形B	1	
		幼児体育A	1	
		幼児体育B	1	
保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ		2	保育実習Ⅱ	
	保育実習Ⅲ			
保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ	1	保育実習指導Ⅱ	1	
		保育実習指導Ⅲ		

注意事項

幼稚園教諭1種免許状、保育士資格を取得するためには、各免許状、資格が定める所定の科目（上記Ⅰ・Ⅱを確認のこと）を履修し、単位の認定を受けなければなりません。

本学では、実習に関する科目の履修資格、単位の認定等について、「桜花学園大学保育学部 教職課程及び指定保育士養成施設の指定および運営の基準に定める教育課程の履修に関する細則（以下「細則」という）を定めています（『履修の手引き』の末尾に掲載）。

実習は、学外で行う体験学習科目です。学生のみなさんは、『履修の手引き』の「保育学部シラバス」及び上記「細則」をよく読んで、実習に関する科目を履修してください。

V. 幼稚園教諭専修免許状

保育学部を卒業後、本学大学院人間文化研究科人間科学専攻に進学し修士の学位を取得し、取得を希望する免許課程の科目を履修し、所定の単位を修得した場合、幼稚園教諭専修免許状を取得することが出来ます。

1. 基礎資格 修士の学位を取得すること。
2. 基礎要件 幼稚園教諭Ⅰ種免許または小学校教諭Ⅰ種免許を取得していること。
3. 取得を希望する免許課程における履修すべき科目と修得を必要とする最低単位数
教科又は教職に関する科目 24単位以上。